

平成二十八年五月投句

【いのちのたび博物館】

風巻きぬ葉桜うねり猷めき

樟落葉恐竜展の外は雨

繭の中でまどろんでゐる白日夢

勝利

ジオラマの恐竜展示こどもの日

光子

渡る風を乾かすやうな麦の秋

落としもの探して薔薇の径戻り

飛び立てる鳥の一群走り梅雨

恐竜の化石見し目を新緑に

梅雨雲を巻き込むやうに観覧車

佳与子

観覧車卵の花腐つ日も回り

真理子

籬より吠ゆる子犬や鉄線花

麦秋の中ことごとく地震の村

薬用の十薬水で洗ひをり

マンモスの歯に触れし掌の梅雨湿る

降りそぐ初夏の太陽天窓に

節子

葉桜の川にせり出す天守閣

由紀子

野茨の咲く坂行くが近しとか

光色堂出で新緑に深呼吸